

南ア月報  
(2019年7月)

【内政】

- ラマポーザ大統領の国会答弁
- 護民官によるラマポーザ大統領に対する報告

【外政】

- ラマポーザ大統領のレソト訪問
- ラマポーザ大統領のニジェール訪問
- パンドール国際関係・協力大臣の予算演説
- パンドール国際関係・協力大臣のブラジル訪問

【経済】

<経済指標>

- 消費者物価指数 (CPI)
- 為替レート
- 製造業生産高
- 鉱業生産高

<出来事>

- 4-6 月期失業率 29.0%に上昇
- 信用格付機関 Moody's が Eskom への財政支援を懸念

【広報・文化】

- 第 33 期 J E T プログラム参加者の出発

【警備】

- ケープタウン高級ホテルにおける強盗
- 密猟容疑者の逮捕

1 内政

● ラマポーザ大統領の国会答弁

ラマポーザ大統領は、17日、国会において大統領府予算演説を行い、18日、与野党討議の総括として、公共政策、若者の雇用、ガバナンス、地方経済開発、経済改革、イン

フラ開発、土地改革、国際関係等に関し答弁を行った。

#### ●護民官によるラマポーザ大統領に対する報告

19日、護民官（Public Protector）（民主主義を守るために南ア憲法で規定されている独立機関。他国ではオンブズマンにあたる。）は、ラマポーザ大統領が行政倫理規則に違反したという申し立ての調査に関する報告を発表した。ラマポーザ大統領は、同機関による調査結果が事実に基づいておらず、また、法的根拠を持っていないとして、調査結果及び是正措置について緊急の司法審査を求めることとした。

## 2 外政

#### ●ラマポーザ大統領のレソト訪問

3日、ラマポーザ大統領のレソトを訪問し、SADC 調停者の立場でタバネ首相からレソトの改革に関する報告を受けた。ラマポーザ大統領は、8月のタンザニアにおける SADC 首脳会議の場で SADC 地域の国家元首に対しレソトの改革に関する調停プロセスの報告書を提出する予定である。

#### ●ラマポーザ大統領のニジェール訪問

6日、ラマポーザ大統領は、第12回 AU（アフリカ連合）臨時総会に出席するために、ニジェールを訪問した。ラマポーザ大統領は、アフリカ諸国間の貿易を促進し、経済成長を加速化されるアフリカ大陸自由貿易圏設立協定（AfCFTA）の発効を歓迎した。

#### ●パンドール国際関係・協力大臣の予算演説

11日、パンドール国際関係・協力大臣は、予算演説を行った。同大臣は、ナイジェリア、エジプト及びケニアとの結びつきの強化や資源の有効活用、生産業の発展、デジタル・テクノロジーのより広範な活用等の南ア外交のプライオリティーに関して述べた。

#### ●パンドール国際関係・協力大臣のブラジル訪問

24日、パンドール国際関係・協力大臣はブラジルを訪問し、BRICS 外相会談に出席した。BRICS 外相会談の-margin で、パンドール国際関係・協力大臣は、アラウージョ・ブラジル外務大臣と二国間会談を行い、両国関係の強化につき話し合った。

## 3 経済

### <経済指標>

#### ●消費者物価指数（CPI）

6月の消費者物価指数（CPI）は、前月に比べ0.4%上昇した。年間消費者物価インフレーション率は前年同月に比べ4.5%上昇。（南ア統計局、7月24日）

## ●為替レート

2019年7月31日付（南ア準備銀行）

7.6567 円/ランド

14.1784 ランド/米ドル

15.8060 ランド/ユーロ

## ●製造業生産高

5月の製造業は、前年同月比1.0%増。主なプラス要因は、食品、飲料品で6.7%増。主なマイナス要因は、木製品、製紙、出版及び印刷製品で3.9%減。季節調整後生産高は、前月比1.5%減、また直近3ヶ月（3~5月）の調整後生産高は、0.3%増で、製造業10部門中5部門で製造増となった。（南ア統計局、7月11日）

## ●鉱業生産高

5月の鉱業生産高は、前年同月比1.5%減。主な要因は、金で24.4%減、ダイヤモンドで30.7%減、鉄鉱石で5.2%減、非貴金属鉱物で9.8%減。一方で、石炭で8.0%増、PGMsで6.8%増、マンガン鉱石で29.3%増となった。季節調整後生産高は前月比3.0%増、また直近3ヶ月（3~5月）の調整後生産高は、2.2%増となった。（南ア統計局、7月11日）

## <出来事>

### ●4-6月期失業率29.0%に上昇

南アフリカ統計局は2019年度4-6月までの失業率が29.0%を記録したと発表した。これは、2003年3月に記録した29.3%に次ぐ高水準であり、失業率の低下と、経済の立て直しを改革案の優先事項としているラマポーザ政権にとって大きな打撃となった。また、他のANC内の影響力のあるリーダー達からの反発により、ラマポーザ大統領が所得、住居、及び他のサービスにおいて人種的格差による構造変化を推し進めることができないとの懸念も高まってきている。（Business Day、7月30日、南アフリカ統計局、7月31日）

### ●信用格付機関 Moody's が Eskom への財政支援を懸念

南アフリカ政府は、国営電力会社 Eskom への再建案として、今後2年間で260億ランド（2019年度）と330億ランド（2020年度）の追加支援を行うことを発表した。これについて大手信用格付機関 Moody's は格付けにとってネガティブであるという見解を示した。南アフリカを唯一、投資格級とみなしている Moody's は今回の Eskom への支援は、「政府が発表した追加支援の効果は限定的である。また、この追加費用は政府財政に悪影響を及ぼす」と語った。（BusinessTech、7月25日）

#### 4. 広報・文化

##### ●第33期JETプログラム参加者の出発

27日(土)に日本へ向け出発する第33期JETプログラム参加者に対する出発前オリエンテーションが26日(金)、当館多目的ホールにおいて実施された。出発を翌日に控えるJET参加者に対し、プログラム全般に係る説明及び質疑応答が行われた。なお、全参加者が一堂に会する機会は同オリエンテーションが初めてであった。

オリエンテーション終了後、大使公邸において開催された歓送レセプションでは、丸山大使より参加者に対する祝意とともに、日本と南アとをつなげる存在となるよう期待する旨が述べられた後、JET参加者及び元JET等との間で活発な情報交換が行われた。また、選考の行われた当地4都市(ヨハネスブルグ、ケープタウン、ダーバン、ポートエリザベス)各代表者からの謝辞が述べられ、南アJET同窓会会長から激励の挨拶が贈られた。

南アフリカからの今期JETプログラム参加者は53名であり、先輩JETに続き、日本と南アフリカとの友好関係促進に貢献することが期待される。参加者は東京における来日直後オリエンテーションを経て、それぞれの任用団体に着任し、1年間の契約の下、外国語指導助手(ALT)として活動する。

#### 5 警備

##### ●ケープタウン高級ホテルにおける強盗

16日(火)、ケープタウンのマウント・ネルソンホテルにおいて強盗事件が発生した。同ホテルは、テーブルマウンテンの近くにある警備員の配置された5つ星ホテルであるが、銃を持った十数人の強盗団が侵入し、展示品や居合わせた従業員等の貴重品が強奪された。数日後、強盗団のメンバー数人が警察に逮捕された。

##### ●密猟容疑者の逮捕

10日(水)、国家警察重大犯罪捜査局組織犯罪対策部は、絶滅の危機にある動物、センザンコウを違法に所持していた2人の容疑者をケープタウンにおいて逮捕した。また、11日(木)には、象牙を所持していた2人の容疑者も逮捕されている。南アでは、象牙やサイの角のほか、は虫類や多肉植物等、野生の動植物は法律により保護されており、これに違反して採取・所持すれば逮捕され、禁固・罰金刑等が課せられる。